

旅立ち

NPO 法人 全国引きこもり KHJ 親の会 (家族会連合会) 代表 池田 佳世
 第 68 号 発行日 平成 25 年 4 月 7 日 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 3-4-4
 TEL 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 http://www.khj-h.com
 Facebook : http://www.facebook.com/khj.ho / Twitter : http://twitter.com/hikikomori_khj

全代研 九州大会 大会全容決まる

明るい日差しがもどつて
 やっと冬が終わったようで
 す。全国の皆様、お
 変わりなくお過ごし
 のこととお慶び申し上げ
 ます。
 故奥山雅久代表が何
 度も福岡を訪れてくだ
 さり、女所帯の私たち
 へいつも温かなお心
 遣いをしていただいでいたこ
 とが忘れられません。

福岡

今回の全国大会は、従来と
 異なり、分科会をしないので同
 じ会場を使うことです。
 全部のテーマに参加で
 きる利点があると思ひ
 ます。講師の先生は、で
 きるだけ K H J 内部の
 先生方を総動員します。
 28 日(土)は、基調講演、
 全国各支部の取り組み
 の発表に時間を取った全国代
 表者研修会、家族会や支援者



旅立ち 第 15 号 (2003. 7. 5) より
 「各地で訪問サポート士養成講座始まる」

このほか、民生委員
 や地域で福祉活動に
 携わっている人にも
 サポーターになつて

厚生労働省のホームページによ
 ると「ひきこもりの人やその
 家族に対するきめ細かで継
 続的な相談支援や早期の把
 握が可能となるよう、「ひき
 こもりサポーター」を養成
 し、市町村によるひきこも
 リサポーター派遣事業を実施
 する。」として七億円を計上
 しました。これを報じた共同
 通信によると「厚生労働省は

二〇一三年度から、引きこも
 りの人や家族を支援する「ひ
 きこもりサポーター」を養成、
 派遣する事業を始める。相談
 しやすいようにサポーターに
 は引きこもりを経験した人や
 家族を主に予定している。
 サポーターは地方自治体によ
 る募集を想定。全国に三八
 カ所ある「ひきこもり地域支
 援センター」などで研修を受
 けてから、引きこもり
 の人を抱える家庭に
 派遣される。本人や家
 族に面会して話を聞
 き、専門機関を紹介す
 るほか、勉強会などを
 開く。

厚労省 ひきこもり支援で七億円 計上

引きこもりにサポーター派遣 経験者が自立援助を

「ひきこもりサポーター」活動は、二〇〇二年(平成一四年)に全国的に初めて故奥山理事長の提起があり、その後の長い苦闘の年月、K H J は、要望を国や自治体に要請し続けながら、独自に「訪問サポーター養成講座」を開催して来ましたが、それが今回始めて、国の支援策に取り入れられ

「ひきこもりサポーター」活動は、二〇〇二年(平成一四年)に全国的に初めて故奥山理事長の提起があり、その後の長い苦闘の年月、K H J は、要望を国や自治体に要請し続けながら、独自に「訪問サポーター養成講座」を開催して来ましたが、それが今回始めて、国の支援策に取り入れられ

「ひきこもりサポーター」活動は、二〇〇二年(平成一四年)に全国的に初めて故奥山理事長の提起があり、その後の長い苦闘の年月、K H J は、要望を国や自治体に要請し続けながら、独自に「訪問サポーター養成講座」を開催して来ましたが、それが今回始めて、国の支援策に取り入れられ

「ひきこもりサポーター」活動は、二〇〇二年(平成一四年)に全国的に初めて故奥山理事長の提起があり、その後の長い苦闘の年月、K H J は、要望を国や自治体に要請し続けながら、独自に「訪問サポーター養成講座」を開催して来ましたが、それが今回始めて、国の支援策に取り入れられ

ひきこもり経験者やその家族をサポーターに活用するといふ事業です。今まで放置されていた「長期・重篤」の当事者や家族への支援の手が国の制度として始まろうといひます。

全国の支部のみなさん、私達・K H J の多くの支部は、「訪問サポート」活動では沢山の経験と実績を持っています。いまこそ、国の・厚労省の支援の流れに乗って、各自自治体でとりまかれる「ひきこもりサポーター養成、派遣事業」に参加・連携していきましよう。

K H J 本部としても「ひきこもりサポーター養成事業」の成功と前進の為の会議を計画します。
 「お父さん、お母さん、希望を持つてがんばってください！ ひきこもりの子どもの回復のためです！ せつかく国が予算を出しているのですから……」
 (編集委員長 伊藤進)

の親睦交流会を致します。
 29 日(日)は、K H J の先生方、日頃の研鑽の発表と意見交換をシンポジウムの形でを行います。
 全国の皆様と一堂に会し、いろいろお話ができることを心待ちにしています。(K H J 福岡支部の会代表・吉村文恵)
 第八回全国ひきこもり K H J 親の会九州大会
 あいれふ 7 階 28 日(土) 13:00 親睦交流会会場・プラザホテル(福岡市中央区大名 1・9・63)

若者の集会

あいつふ 7 階 28 日(土) 13:00 親睦交流会会場・プラザホテル(福岡市中央区大名 1・9・63)

K H J 静岡県「いづく会」が昨年 11 月に静岡県知事宛に要望した「静岡県ひきこもり支援センターの開設」について 3 月 7 日県庁に於いていっぶく会、県議、県担当者の顔合わせが 1 時間にわたって行われ、説明にあたった県健康福祉部・障害支援局大石局長によると「平成 25 年度から予算額 2150 万円です。静岡県ひきこもり支援センター」を設置する事とし、第一次相談窓口機能及び訪問支援を中心とした支援を新たに実施する」とし、「平成 25 年 4 月に精神保健センター内に設置予定」となっています。実施体制として、ひきこもり支援コーディネーター 15 名を配置し「電話相

静岡県支援センター 4 月設置へ

談窓口を設置」することから始めるとしています。席上、いづく会上杉会長より、ひきこもりに特化したコーディネーターの人選、養成、雇用期間、さらに支援の専門家によるスーパーバイザーの人選、また、今後の連絡協議会への家族会の参加、支援センター設置の広報態勢など意見が出されました。それを受けて局長からの、「今後、家族会とも情報交換を重ねながら推進していきたい」という発言があつて閉会しました。(いづく会・柴田)

活動状況 (2013 年 1~3 月)

- 1 月 11 日 NHK 学園高校へ来訪
- 1 月 24・27 日 タイ遊学視察旅行 (池田、伊藤)
- 1 月 26 日 和歌山からき町講演(脱ひきこもり家庭から地域から) (中垣内)
- 2 月 7 日 ハローワーク新潟「メンタルヘルス」(中垣内)
- 2 月 13 日 新潟佐佐木荘訪問 (池田、中垣内)
- 2 月 16 日 国会議員事務所訪問 (池田)
- 2 月 20 日 鶴沼青少年育成協力委員 (池田)
- 2 月 23・24 日 第八回社会的ひきこもり支援者全国実践交流会(岩崎) (池田、境)
- 3 月 2 日 B B C ラジオ取材
- 3 月 7 日 山梨大学 教職員研修講座「ひきこもりの心」(中垣内)
- 3 月 8 日 厚労省訪問 (池田、松本、上田)
- 3 月 10 日 京都オレージの会「新・親の回復 10 ステップ」(中垣内)
- 3 月 14 日 「医薬経済」取材
- 3 月 15 日 NPO 法人 F D A 主催「就労困難者の雇用創造」これからの 10 年」パネル ディスカッション (池田)
- 3 月 17 日 静岡支部講演会 (中垣内)
- 3 月 24 日 神奈川にて学習会推進講座 (池田)

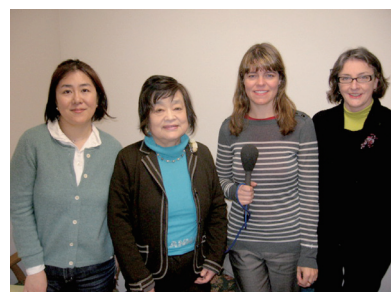
本部事務局 野中俊介

新しい可能性と飛躍を求めて

タイ国バンコク遊学支援視察旅行



今年の一月二四日〜二七日の四日間、牟田武生さん（特定非営利活動法人教育研究所 理事長）の案内で、タイ国バンコク遊学支援視察旅行に池田理事長、伊藤理事、支部から新潟の三膳さんら、九人が参加しました。企画は池田さんの知り合いの牟田さんです。



生活があることを知ってほ皆さんの感想を聞き言っ（三膳）「移動の）バリングに感動した」（伊藤）「ここにきて（数年ぶりに心から笑えた）「老後はここに住みたい」など。池田理事長は「今回、初めての企画でしたが皆さんに好評だったようで、こうした企画を年一回はやりたいですね」と

タイは、物価が日本より安く、日本から比較的近く、開発途上国で人々が親しみやすく、温和です。ひきこもりに悩む若者の回復に適した国と思われま

視察を終わった後に皆さんの感想を聞き言っした。「ひきこもりの子にも参加してほしい」（池田）「タイはのんびりしたペースで、温かく、安らげる国です。だから僕は三回きています」（高橋）「きつと子どもものんびり出来る」（牧野）「お坊さんの話は一番印象に残った」（山路）「子どもより私の方が来たい。家内にもこういう

若者の文化が、アニメ、ゲーム、ポップスと日本から発信されたように、ひきこもりも日本から発信され、これからイギリス、ヨーロッパに広まるのではないかと、3月3日、KHJ本部に実態取材にきました。

BBCラジオひきこもりの実態取材のため来日

BBCラジオ（イギリス放送協会）は、放送局の中で一番古く、ヨーロッパ全域にまたがっています。ひきこもりが日本だけのことで、現場を見聞きしてみたい、親の会というのか、活動しているのか聞いてみ

たいと思ったそうです。代表の池田と、50代の当事を抱えているお母様、家庭内暴力をして今本人が一人暮らしをしている30代の青年のお父様、就労した30代の青年、資格を取って常勤にならず働いている30代の青年、大学を卒業して週一で働いて、「自分から行動を起こさないと何も始まらない」と感想を述べていた30代後半の青年、皆SCSの土曜日の居場所に来ていました。

イギリス人の感想としては、「親は、皆自分に厳しいし、頭の良い人達ばかり、親の大切さ、親が勉強すること、青年の回復ができるという事が分かった」、「イギリスでは政府がやることを、日本ではKHJ親の会がやっている」、「青年達はシャープで頭がよく、とても優秀な方たちだとびっくりした」、「自分のことなのに、よく説明してくれた。感動した」、「長く社会に出られなかったり、リストラにあった人もいる。この現象は、社会の若者のデベリオン（革命）ではないかと思った」という感想でした。（池田）



パナスさん

姉殺害事件で大阪高裁 地裁の20年を破棄 14年の判決

ひきこもり30年 支援が無かったのが問題

大阪市平野区で姉を刺殺したとして殺人罪に問われ、発達障害を理由に検察側の求刑懲役16年を超す懲役20年の一審判決を受けた無職大東一広被告（42）の控訴審で、大阪高裁は2月26日、一審大阪地裁判決を破棄、懲役14年の判決を言い渡した。

障害者が関わる事件の弁護を数多く手掛ける副島洋明弁護士の話「発達障害がそのまま動機形成に影響したとする点で、判決は障害への誤解と偏見から抜け出せていない。被告が何に追い込まれて30年間もひきこもったか、その間に何も支援の手がなかったということが問題である。」

（大阪日日新聞）

教育理念『1/1の教育』
全生徒一律ではなく、
1人1人の生徒を育みます。

不登校・ひきこもりの方も安心

生徒第一...だから

第一学院 高認・大学受験予備校
通学科 通信科

4月より第一高等学校から学校名を変更し、生まれ変わりました

TEL 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

無料（通話料は自己負担）

引きこもり電話相談
☎ 03-5944-5720

火・木・土 PM1:00～5:00
第4土曜・祭日休み
「楽の会」

ルボ「ひきこもり」
価格8000円

ひきこもり
今この声を誰が...

精神科医・医学博士 中垣内正和
推薦のことは

行き詰まり、迷途を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。

〒530 新船場

第八回 社会的ひきこもり支援者

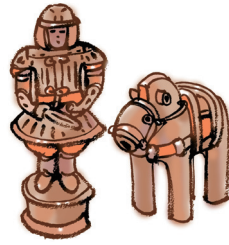
全国実践交流会 in 宮崎に参加して

KHJみやざき「楠の会」代表世話役・植田 美紀子

大会は、2月23日～24日、南九州大学を会場に、宮崎県宮崎市、宮崎県の放送局と新聞社など22団体の後援で開催されました。

今回の宮崎大会は、宮崎県でもう一つの親の会の団体「コスモス会」が事務局を引き受けた関係で「みやざき楠の会」も微力ながらお手伝いをさせていた。出足が遅れ心配されましたが、当日は450人を超す関係者が全国から参加され、大盛況となりました。

参加者の約15%は当事者と家族、約15%は公務員、残り約70%はそれ以外の支援者だったそうです。初日は、孤児の救済を日本で初めて行った、福祉の父と言われる「石井十次」の遺志を継ぐ「石井記念愛社」の児嶋章次郎氏の記念講演から始まりました。「ひきこもりの総合的支援をめざして」と題した特別シンポジウム（太田政男・佐藤洋作・山本耕平）のあと、午後は8つの分科会に分かれて、実践者の報告会と熱のこもった意見が交わされました。



私は、第4

交流会の「ひきこもりと家族支援」に参加し、体験発表をしまし

た。この交流会での目玉は、KHJ理事でもある徳島大学の境泉洋先生の提唱される「CRAFT」を応用したひきこもりの家族支援「でした。CRAFTとは、コミュニケーション強化と家族訓練を取り組みやすくプログラム化したもので、認知行動療法プログラムともよばれています。概要は省略しますが、これを家族に向けて実践している東大阪若者サポートステーションの統括コーディネーター・臨床心理士の岡崎氏が、経緯と具体的な実践の内容や効果を報告されました。

常設の居場所開設によって見えてきたこと

NPO法人 なでしこの会 理事長 大脇 正徳

2010年3月に完成した「調査報告集」は、1年間掛けて、なでしこの会のひきこもりに関心する家族へ直接訪問して、自宅や別の場所（2人組）で専門の相談員になり、約2時間聴き取りを行い、その調査結果から見えてきた実態とこれからの支援の必要性と方向が明確になりました。

特に調査から五つの支援「①居場所の活動・②訪問支援・③相談（面接、親のグループワークなど）・④社会参加・⑤（他機関・他団体との連携）」を親の方が望んでいることがわかり、2011年に愛知県からの「NPO法人等が行う生活困窮者等支援事業」を受託してから、常設の居場所を開設する中で、五つ支援を継続して進めています。

居場所フレンドシップなど「FNSN」ができたことによって、ひきこもり支援の取組みが広がり、当事者にも変化が見られるようになりました。

昨年、愛知県からパンフ

ホームレス・ひきこもりを余儀なくされている人の生き方を共に見出します

愛知県 「NPO等が行う生活困窮者等支援事業」

愛知県NPO等が行う生活困窮者等支援事業（以下、困窮者支援事業）とは、国（厚生労働省）が実施する「セーフティネット受給者等支援事業」のうち、「社会的包摂（絆）再生事業」を、愛知県が国に代わって実施する事業です。

愛知県は、国からの補助金を社会福祉法人・社団法人・NPO法人の6団体に交付しています。困窮者支援事業は、地域で孤立した生活を余儀なくされている人々（ホームレス・ニート・ひきこもりなど）に対して、巡回相談や訪問、住居・居場所の提供を通じて、健康で文化的なその人なりの生活を見出し、自己実現を目指すという目的で、実施されています。

このパンフレットでは、愛知県内で困窮者支援事業に取り組む団体の活動内容を紹介しています。パンフレットを通じて、ひきこもりの多くは多くの市民の目から、この事業に対するご理解と協力を頂戴できましたら幸いです。

編集：特定非営利活動法人 なでしこの会

プログラムを受けた家族の感想は「初めて役立つ支援だった」「子どもとコミュニケーションが良くなった」「今後受けたい」など、一般に行われている集団形式の支援よりも高い効果が得られるという発表がありました。

レット作成の依頼を受け「社会の風になたるいい機会になる」と引き受けました。

「勇気の一冊」という見出しで、新聞でも大きく取り上げられましたが、ひきこもりからの社会復帰を目指す当事者、男女5人を取り要員に、女性1人を挿絵やデザイン担当で、2人1組にスタッフが付き添い、県内のホームレス等の支援6団体を手分けして取材に向き、初対面の相手と対話を重ね、試行錯誤しながらインタビュー記事を集め、各団体の活動内容や思いをまとめたA4版10ページの冊子500部完成させました。

「今回の経験が直接、役に立つかは分からない。でも、社会に慣れるために場数を踏めたのは良かった」と当事者の声。パンフレット作成の過程の中で、対人関係の克服とやり遂げなければならぬという意欲、責任感、集団での取組みによって、「完成したパンフレット」の素晴らしさが好評を得ています。なでしこの会・「FNSN」の存在

感を示しました。

私の娘も今年で40歳になりますが、毎週1回この居場所に通っていますが、居場所では、人間同士の共同体験の中で、自分の役割や独自性に気づきながら、自助・自治・自立（同じような仲間）のこと。自分達で考え、決定していくこと」を高める仲間同士の活動ができ、「自分らしさ」を取り戻すために、「他の人から承認されること」が必要だと、人と親しくなることは、自分を受け入れ、認めてくれる人と出会うことです。この居場所「FNSN」との出会いが社会参加の一歩だと思っています。

5月に、なでしこの会として、当事者の社会復帰を目指すための場、「自分らしさ」を取り戻す場、「Cafe なでしこ」の運営を始めます。今後とも、よろしくお願

不登校・ひきこもりの方も安心

教育理念『1/1の教育』

全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。

生徒第一...だから

生徒1人1人と向き合う
「1/1の教育」で生徒の自信と意欲を養います。

通信制高校（広域通信・単位制）

第一学院高等学校

4月よりウィザース高等学校・ウィザース ナビ高等学校から学校名を変更し、生まれ変わりました

TEL 0120-761-080 www.daichigakuin.ed.jp

全国76キャンパス（平成24年3月現在）

社会不安障害総合情報サイト

SADとは「Social Anxiety Disorder」の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことです。

SAD NET

人前で話したり、食べたり、書いたりしようとすると、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。

・おおよそのSAD（社会不安障害）をチェック可
・どこへ行けば治療して貰えるの？
全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。

社会不安障害の総合情報サイト
URL: <http://www.sad-net.jp/>

月例会に参加して気を楽しにしたい情報交換しませんか

☆親の会（月例会）問い合わせ先（2013年3月31日現在）

本部 NPO法人 全国引きこもりKHJ親の会（池田佳世）

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 ☎03-5944-5250 FAX 03-5944-5290

東北・北海道	
KHJ北海道「はまなす」（吉田 勇） 〒064-0824 札幌市中央区北四条西26丁目3-2 ☎090-3890-7048 ☎&FAX 011-631-0981	
NPO法人岩手県青少年自立支援センター「ボランの広場」家族会 （泉 勝夫）〒020-0873 盛岡市松尾町19-8 ☎019-605-8632 FAX 019-605-8633	
KHJ青森県「アップルの会」（川村克彦） 〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西5-9-1634 サnhaus内 ☎&FAX 0178-88-5297	
秋田県「かだれ会」（長信田の森心療クリニック） 〒018-2303 秋田県山本郡山本町森丘字石倉沢1-2 ☎0185-72-4133 FAX 0185-72-4134	
NPO法人KHJ宮城県「タオ」（武田和浩） 〒987-2183 栗原市高清水袖山62-18 ☎0228-58-4755 FAX 0228-58-4756 ☎080-3193-6715	
NPO法人山形県「から・ころセンター」（伊藤正俊） 〒992-0026 米沢市東2-8-116 ☎&FAX 0238-21-6436	
関東ブロック	
KHJ東東京「楽の会」（池田佳世）☎03-5944-5250 〒170-0002 豊島区巣鴨3-4-4 FAX 03-5944-5290	
KHJ西東京「萌の会」（井手 宏）☎090-8452-8810 〒167-0051 杉並区荻窪1-19-4 ☎&FAX 03-5397-5372	
NPO法人KHJ埼玉けやきの会家族会（田口ゆりえ） 〒331-0805 さいたま市北区盆栽町190-3 ☎&FAX 048-651-7353 ☎080-3176-6674	
NPO法人KHJ千葉県なの花会（藤江幹子） 〒260-0042 千葉市中央区椿森1-2-2志村荘201 ☎090-8491-0971	
KHJ神奈川県「虹の会」（安田賢二） 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 12階 ボランティアセンター気付No.② ☎080-2107-1171	
NPO法人KHJ栃木県「ベリー会」（齋藤三枝子） 〒321-0954 宇都宮市元今泉5-9-7 宇都宮市まちづくりセン ターまちびあ内2F FAX 028-663-5022 ☎090-1846-4004	
グループコスモス（瓜生 武）☎&FAX 03-3728-4488 〒145-0066 東京都大田区南雪谷2-11-5 ☎080-3255-4161	
KHJ静岡県「いっぶく会」（上杉博美） 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町25-2 ☎090-5036-2552 ☎&FAX 054-245-0766	
東海ブロック	
NPO法人なでしこの会（大脇正徳） 〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町15-13 神宮東セブンA1階 ☎090-4195-2674 ☎&FAX 052-882-1119	
NPO法人名古屋オレンジの会（鈴木美登里） 〒453-0015 名古屋市中村区椿町19-7 ファンマンション椿町304 ☎&FAX052-459-5116	
北陸ブロック	
NPO法人KHJにいがた「秋桜の会」（三膳克弥） 〒950-0167 新潟市江南区五月町1-2-9 ☎090-4017-2889 ☎&FAX 025-382-6912	
KHJ北陸会（事務局） 〒920-0813 石川県金沢市御所町丑57 ☎090-8092-1097 ☎&FAX 076-252-4856	
とやま大地の会（井波純子） 〒939-2455 富山市八尾町大玉生秋「野良里」内 ☎090-3768-1733 FAX 076-429-5886	
近畿ブロック	
NPO法人京都オレンジの会（稲垣 緑） 〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東分木町74-3 東山三条ライフステーション ☎&FAX075-752-0289	
NPO法人大阪虹の会（前川 実） 〒592-0011 高石市加茂1-20-2 グリーンモール高石1F ☎&FAX 072-265-2021	
NPO法人KHJ「つばさの会大阪」（大塚 洋） 〒573-0027 枚方市大垣内町1-3-1マイントピカル4 F ☎090-4308-4259 ☎072-844-2423	
KHJ情報センターふきのとう姫路（櫛橋行雄） 〒670-0896 兵庫県姫路市上大野1-11-6 ☎&FAX 079-224-5259 ☎090-5046-7134	
NPO法人情報センターISIS大阪（山田孝明） 〒573-0061 枚方市伊加賀寿町1-1パークロード有馬201号 ☎072-844-0399	
中国ブロック	
KHJ岡山きびの会（萩尾寛江） 〒700-0944 岡山市南区泉田56-5 萩尾事務所内 ☎&FAX086-264-5183	
KHJ広島もみじの会（岡本 弘） 〒731-5137 広島市佐伯区美の里2-1-39-801 ☎090-7375-6659 ☎&FAX082-924-2922	
KHJ山口県「きらら会」（上田十太） 〒759-4102 長門市西深川2850-3 ☎&FAX 0837-22-5495	
四国ブロック	
NPO法人KHJ香川県オーリーブの会（川井富枝） 〒761-0104 高松市高松町2574-9 ☎&FAX087-843-9877 ☎090-4332-3288	
KHJ徳島県「つばめの会」（高橋浩爾） 〒776-0014 吉野川市鴨島町知恵島372-6 ☎090-7620-4625 ☎&FAX0883-24-0507	
KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会（竹中あおい） 〒781-5205 香南市野市町みどり野東1-33 ☎&FAX0887-55-1255	
KHJ愛媛県こまどりの会（渡部浩二） 〒791-0216 東温市野田2-10-35 ☎&FAX089-964-4558 ☎090-8972-4587	
九州・沖縄	
KHJ福岡県「楠の会」（吉村文恵） 〒810-0003 福岡市中央区春吉1-7-18 タケウチビル1F ☎090-8222-7403 ☎092-731-3091	
NPO法人ランチの会（武井敬蔵） 〒860-0072 熊本市花園7-2435-12 ☎096-322-3548 FAX096-322-3787	
KHJみやざき「楠の会」（植田美紀子） 〒880-0944 宮崎市江南4-9-9 植田方 ☎090-9603-8780 ☎&FAX0985-53-2666	
KHJ鹿児島県「楠の会」（福留順一） 〒891-0704 南九州市頰娃町別府1243 ☎0993-38-1421 ☎&FAX0993-38-0320	
NPO法人KHJ大分県「大分ステップの会」（松本太郎） 〒879-5102 由布市湯布院町川上3604-14 ☎090-1163-8582	
サポートセンターゆめさき（上江田紫寿江） 〒904-2171 沖縄県沖縄市高原7-34-29 ☎098-930-1066 FAX 098-930-1068	